

多摩市第三次住宅マスタープラン策定に伴う市民意識調査結果 自由意見件数と主な意見

分類項目	件数	主な意見
防災	18	いつ起きても不思議ではないと言われている「首都直下型地震」や「富士山噴火」に対する準備が必要だと思えます。また、非常食等の備蓄も行政から市民へ積極的に呼びかけていただきたいと思えます。
		住宅地の道路が狭く（対向車とはすれ違い出来ない）住宅は密集している。又、一軒取り壊すとその後二軒建ち、密集化が加速しているように思える。隣とのスペースも狭く今後大地震が起こった場合、火事が瞬時に広がり逃げ場がなくなるのではないかと心配です。
防犯(安全対策)	40	安全、防犯の為に街灯の設置をぜひお願いしたいです。（特に細道、カーブ、駐車場が道の両側にある道路、川沿い、夜道危ない場所）働く女性が増え、夜道歩く人が増えています。
		公園に「木」が多すぎるため、公園内が暗く、閉鎖的で恐怖を覚える。蚊の発生、不審者の出没等につながる。 街路樹は町を美しくしているが、自転車などが、通行している人とのすれちがいの際に、樹木の下枝にぶつかりそうで大変危険であるので、安全のため切っていただきたい。防犯上も見通しが良い様をお願い致します。
子育て	24	母親が仕事をしている場合、預ける先がなかなか見つからず、困った経験があります。そのような点が少しでも向上すると、仕事をもつ母親も安心して子育てができるのではないかと思います。
		子育て世代、保育園だけでなく学童を卒業した学年までが放課後も安心して集える場所、その親たちのコミュニティの場として児童館を残しておくべき。 将来子育てをする立場になった時、待機児童や近隣での再就職について（子育て中の女性を雇う企業の充実／企業側の支援有無）不安がある。
交通	39	ミニバスの本数が少ない、市役所出張所（多摩センター）、図書館本館の場所が利用しづらい。
		急坂が多く、コミュニティバスが走っていない。ワゴン程度の小さい車でも良いので、きめ細かく、走って頂けると助かる。 自家用車がないため、駅から徒歩圏内となると良い賃貸物件があまりないのが残念です。また、バスのルートのせいか多摩市内を公共交通機関で移動すると時間がかかる（聖蹟～多摩センター、聖蹟～永山など）。
歩行空間	25	歩道（遊歩道含む）が工事等でデコボコで歩きにくい。夜間、路上が暗くて歩きにくい上、人影も分かりにくいので不安です。車の通り抜けになっている路地などガードレールのない道は車と自転車、人が接触しそうで危険です。
		歩行者の安全確保の設備を充実してほしい（特に自転車から守ってほしい）。30～40年経過している住宅地域の道路の安全確保を願います。
高齢者	30	5階建てでエレベーターがついていないマンションに住んでいます。年配者には階段の登り降りは大変です。エレベーターが付かないと、引越しか選択肢がありません。よろしくをお願いします。
		現在、UR賃貸住宅に住んでいるが、退職後の賃料や階段には不安材料が大きい。長く住める取り組みをしてもらいたいと切に思う。
居住環境	79	住民は高齢化が進み、自分達でその建替計画を立案し進めるエネルギーが不足しています。賃貸、分譲の区別なく、市の強いリーダーシップを期待します。
		古い団地をどのように改善、活用していくかという事が、今後重要だと考えます。高齢～ファミリー～単身までうまく混在する住環境を整えることが最優先の課題ではないでしょうか。
みどり(公園)	27	大きな木が倒れそうになっていたり、落葉や枝が視界や通行の妨げになっているところがたくさんあります。安全を保てない場所が増えると思うと、郊外に住み続けることは難しくなると思います。
		多摩市の公園は、遊具の劣化、雑草、木々の成長（量）が激しく、陽が当たりにくく暗い上、閉鎖的で子どもを遊ばせる事が安全面、防犯面で怖い。公園だけでなく、木々に関しては、公共の歩道でも強く感じる。
景観	15	駅前の高層マンションには、がっかりしています。郊外の静かで落ちついた街ではなくなってきています。駅前大通りやパルテノン多摩と一体感のある街づくりをして下さい。
		多摩センター駅周辺のタイル（レンガ）の劣化が震災以降激しい。駅を出た時の印象って大事だと思う。 建設の規制を通り一辺のものだけでなく、その地域にあった規制にして欲しい。例えば多摩センター中央公園、及び煉瓦坂等は、それがあから周囲に住みたいと思うのに、肝心の並木道や公園の木々をビルの陰で、枯れやすくしたり、ビルがある為に景観を損ねたりしないような規制を作るべきだった。
日常生活(買い物)	14	京王ストアあたご店が閉店となった。そのため、食料品等は駅のストア迄、行かざるを得ない。買い物時間が長くなり、（食費等）支出も多くなった。前より住みにくくなっている。対策を市を中心に考案してほしい。
		駅から離れた所にある団地に対し、図書館利用、買物、銀行、バス利用など利便性が高くなるサービスがあると助かります。児童館について、子供（特に低学年）は自分で出掛けられる範囲が限られるので、各地域にあるととても助かります。
コミュニティ(近隣関係)	14	子育て世帯から高齢者、高齢で生活が1人で困難な人への支援やコミュニティを充実して欲しい。子育て世帯の親が共働きが多くて親同士の交流が希薄。子供からお年寄りまで世代が違って交流出来る場が欲しい。
		防災、防犯にはコミュニティ活動の活発化が欠かせないと思う。住民のボランティア活動で基盤が作られつつあるが、担っている人達の高齢化が心配。若い世代が積極的に参加してくれる方策があると良いな、と考える。
環境	28	長年放置されている空き家があり、見た目だけでなく、防犯、衛生上も問題です。 ペットを飼っている人が多いが依然として糞の後始末がされていない。条例的なものが出来ないかと考える。あるいは市の広報活動を。

分類項目	件数	主な意見
全体 (施策、空き家、モラル(タバコ・ゴミ等))	33	駅周辺とそれ以外の地域の格差。市の政策で地域の公共施設が減っていくことで、それが進むことを懸念しています。 安心して住み続けられる環境にないと思っています。住民の高齢化や空き家率の増加、高額な家賃、更新が進まない公園・道路・学校、商店街のシャッター通り化は深刻です。子育て環境の充実（保育園などの増設）、耐震・バリアフリーの推進、コミュニティの場確保、住民の切実な声が届く市政が求められます。
他	19	
合計	405	